



令和6年度 車座集会 意見交換内容

日時	令和6年10月24日(木)15時から
場所	宇久地区コミュニティセンター 会議室
テーマ	○宇久島の未来像について ・国境離島新法の継続についてなど ・その他フリートーク
出席者	地域参加者11名、市長ほか関係者4名 合計15名

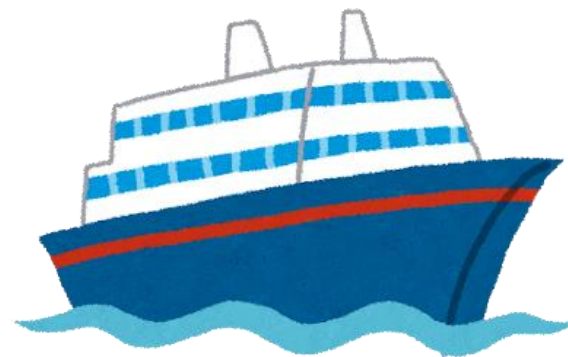
佐世保市 市民生活部
コミュニティ・協働推進課

令和6年度宇久地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:宇久島の未来像について
国境離島新法の継続についてなど

地域参加者

- 国境離島新法の延長について、法律によって運賃の割引や雇用機会拡充事業の活用など多くの町民が恩恵を受け、町の活性化にも繋がっている。
延長は全町民の切実な願い。市長にはご賢察賜り、国並びに関係機関に延長をぜひ実現するように頑張っていたきたいと思う。
- 高速船が片道6000円になったら船に乗る人がいないと思う。町民が宇久島で安心して暮らせるためには運賃対策が絶対必要だと思う。
- 運賃の件が最も重要なことだと考えているが、その他にいろんなメニューがあるので、各部署、検討して宇久島の振興のためにこれを利用していただきたいと思う。
- 運賃が高い。10年前に移住してきた時(国境離島新法前)は、フェリーは往復4000円くらいだった。原油価格の高騰はあるが、国境離島新法でも追いついていない気がする。負担が増えているので本当になんとかしてほしい。



令和6年度宇久地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:宇久島の未来像について
国境離島新法の継続についてなど

地域未来共創部長

- 今週火曜日(10/24)に特定有人国境離島の適用を受けている自治体の副市長の会議が県も出席した中であり、予算も確保できていない中でこの法律が令和8年度で終わってしまうということはありませんということ、県と一緒に情報共有した。今後は、9年度も継続するよう強く働きかけをしていこうと確認しているところである。



2024.10.24 宇久地区



令和6年度宇久地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:宇久島の未来像について
国境離島新法の継続についてなど

市長

- 国境離島新法については時限立法となっている。この法律の成立にあたっては、本県選出の国会議員の並々ならぬご努力があったということ存じており、本県はこの法律をしっかり守る責任があると思っている。これまで法律が運用される中で、課題というものが出てきている。あらためて地元の国会議員などを通じて、国や政府、野党にも繋いで、発信をしてもらうことが重要なことだと思うし、なによりもこの法律を延長させることが一番に重要なことである。本市のみならず関係自治体や県と一緒に、また、他の県もまたいで連携を取りながら、要望を強く政府に訴えたい。



2024.10.24 宇久地区



令和6年度宇久地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:宇久島の未来像について
その他フリートーク

地域参加者

- 宇久島の首長として、宇久島の将来について、どのような発展・まちづくりをお考えであるのか？そのビジョンをお聞きたい。
メガソーラー計画や陸上風力発電計画と佐世保市都市計画マスタープランとはトレードオフの関係にある。
市も自治協議会も、中立的な立場で宇久のことを考えて関わってほしい。事業者に丸投げにしないでほしい。
- 島の将来を考えた場合、島を挙げての付加価値の高い一次産業を行うことが、すべてに通じる一番の道であると思う。昔の宇久島を取り戻し、真の持続可能な島づくりを目指してほしいと思う。
- 合併して19年。合併当時いろいろな意見があった。今、家畜診療所・宇久診療所・水道・ゴミ・保険関係・行政センターの内容・住民健診・社会福祉協議会の活動・学校の教育内容・施設整備等、すべての行政について整備され、何も遺漏なく進んでいるような感じがする。しかし、すべてが整備されている中でなぜか人口減少している。そこがクリアされていれば、合併はよかったという声が大きかったのではないかという感じがする。
- 市議会だよりの一般質問の項目について。宇久島のことが質問されたが、議会だよりで「その他の質問、宇久の救急搬送体制について」とかっこ書きされ内容はカットされた。
議会だよりが市政に最も密着し、最も重要な広報であると認識しているし、今後市議会にも認識してほしい。丁寧に扱い。PRするところはきちんとしてほしい。

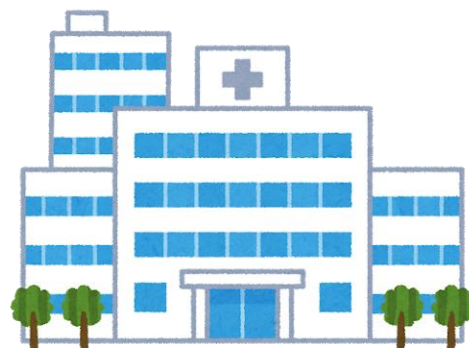


令和6年度宇久地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:宇久島の未来像について
その他フリートーク

地域参加者

- 高齢者の通院助成事業について。1回に千円、年に10回が限度で、年で1万円。1回に千円というのはどこからきた発想か。
国境離島新法がなければ、年金生活では高速船には乗りたくても乗れない。生活が成り立たなくなるし、受診するチャンスをなくすのではないかと思う。
経済負担の軽減化をはかるにおいても補助金の見直しについて、検討をしてほしい。医療的な補助金という考えで補助金を検討してほしい。足代的なものに限定するのではなく、保健福祉的な考えをもってもらえれば若干の発想転換ができると思う。
- 病気は誰でもする。高齢者のみ適用になっている。高齢者だけでなく、子どもを持つ家族なども高速船で行ったり、泊りがけで行かないといけない。本土の方と平等の医療を受けるのに島の方は多くを負担している。島民全体というくらい、枠を広げてほしい。
- ただ1回千円と10回限りというのではなく、宇久にいない専門医にかかる場合の助成も含めて考えてほしいという話だと思う。



令和6年度宇久地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:宇久島の未来像について
その他フリートーク

地域未来共創部長

- 市側の基本的なスタンスとしては、宇久の皆さんの生活を守ることが第一である。再エネルギーに関しては、賛成の人も反対の人もおられるということを知っている、行政がどちらか一方に関わっていくということはプロセスということでは適当でないと感じている。その意味で、安全防犯等協議会を設置した中で、みなさんが入って話をされているのかなと思う。基本的なスタンスとしてはそういうことである。
もう一つ法律上の話をすると、これは開発行為であり一般的な開発行為は事業者の責任において行っていくことである。今回、島谷先生が入っていただいて非常に専門的な観点からご指摘をいただいているので、それらをクリアーにしていくべきだと考えている。そうでないご不安があるということなので、しっかりと島谷先生と連携をとりながら、市から事業者に対して、進め方というか事業者としての取組をしてほしい、ということをお願いしているところである。いずれにしても、一般的な行政の立場というのがあるので、基本的にはその前提に立ったうえで、ご意見を賜りながら市の立場をしっかりと担っていきたい。

市民生活部長

- 議会だよりについては、議長の命を受けて議会事務局が作成している。作成にあたってのルールは、議員の中で研究会を立ち上げて、こういう形式で作成しようという申し合わせがあり、議員1人の割り当てが288文字数の中で纏めなければならないという関係があり、「こちら側からこれを書いてほしい」と言っているわけでもなく、苦肉の策であのようにまとめられたものと思う。ただ、議会だよりを大事に読んでいる人がたくさんいるという思いを伝えたい。
- 年間1万円、1回1千円で年間10回までについて、今回は保健福祉部は来ていないが、以前からそういった要望はあったのではないかと。敬老パスについて考えてみると、宇久観光バスを無料で乗車するか、または、宇久観光バスを100円で乗るけど本土のバスを無料パスを受けるかの選択制を作ったと思う。バスを考えたときのように、何か方法論がないか、保健福祉部に伝えたい。

令和6年度宇久地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:宇久島の未来像について
その他フリートーク

市民生活部長

- (通院助成についての再説明と意見を受けて)航路のことではなく医療で、ということで伝えたい。



2024.10.24 宇久地区



令和6年度宇久地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:宇久島の未来像について
その他フリートーク

市長

- (持続可能な島づくりに関して)選挙の前にもお話をしたときに、大変、素晴らしいお考えだと拝聴した。一方で、市長に就任し、これまでの経緯を勘案等する中で、民間の事業者の方が開発をするということになれば、当然許可申請が必要になってきて、利害関係者の同意が必要となってくるので、そういうものがないと進まないということになる。我々としてはしっかりと判断をしながら、可否についても進めて行く必要があると思っているし、様々な課題や懸念事項が出てきているので、そういうことを払拭していかないと事業の推進も難しいだろうと、事業者にはすでに、再三、話をしている。油断なくしっかりとそういう状況をみながら、また、住民の皆さんとのコンセンサスができるだけ取りながら、進めていく必要があるということを感じている。

- 議会だよりについては、議会の方に慎重に伝えたいと思う。紙面の都合等もあって、今までの慣例上は、議員の方が質問の中から選んで載せるとし、残る部分は箇条書きになっている形式を取っておられる。県議会の場合は長崎新聞に掲載してもらう。そのときには、県の議会事務局から質問のどこを載せるかと尋ねられ、「私の質問のどこどこを載せてください。」と答えるが、あとは一切掲載されず箇条書きさえない。本人がせっかく質問したけど伝わらない部分があるかと思うので、議会の方に伝えたいと思っている。もう一つ重要なことは、必要な情報が必要な方に届かないということが一番問題ではないか。市側の発信という部分が弱いのではないかということを感じている。宇久の医療体制については宇久の町民の方々に届くような形にしないといけないと思うので、そのツールについては、そのお知らせすることについては、しっかりと手段を考えながら行っていきたい。これは宇久だけではなくどこの地域でも必要なことであり、例えば高齢者向けの政策あるいは子育て世代への政策が、なかなかそこに届かないとすれば、せっかく制度や対策を取ったにしても有効に利用できないということになってしまうので、受益者の方々にちゃんと伝わるような方法を取っていきたい。

令和6年度宇久地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:宇久島の未来像について
その他フリートーク

市長

- 医療の補助制度については、どういう経緯で1千円の補助が決まったのか存じ上げていない。もう一度帰って、この件を精査しながら、一方で、医療をなかなか受けられない方々、宇久に限らず本土でも、こういった形で医療を受けることができるのか、例えば、国や他の地域でも進められているのは遠隔医療というのもあるかと思う。専門医は別として、いわゆる一般の受診については遠隔という形で往診ができる、というような体制も進んでいるので、佐世保でも導入をしながら遠隔地においても医者と話をして的確な診療が受けられるようなやり方も工夫していきたいと思う。しかしながら、専門の科目については、どうしてもその病院に行って受診しないといけないという方々もいるので、そういうところも踏まえて対策を検討させていただきたいと思う。



2024.10.24 宇久地区



令和6年度宇久地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:宇久島の未来像について
その他フリーストーク

地域参加者

- 宇久島楽園ミーティングについて。宇久まちづくりアンケートを実施している。今年度はアクションプランをリストアップしていく。
いつ誰が何をするのかが今後の課題。宇久町の将来像を島民の皆さんと共に考え、その実現に向けて取り組むための計画書を作成し、今年度提案する。
一番重要なことは、宇久高校の存続の危惧について。18日に要望書を提出したとおり。市の支援を。
平港周辺の環境整備(宇久ターミナルビルのバリアフリー化、休憩所の整備)と島全体で10数ヶ所ある、県管理、市管理の公衆トイレの改修(盛州公園、神浦バス停、城ヶ岳)をしてもらいたいという意見が出された。
- 宇久島の活性化を図るために、地域おこし協力隊が絶対に必要だと思う。ぜひ宇久島に地域おこし協力隊を呼んでほしい。
- 島民同士が一致団結して、意識を高めていけないといけない。自分たちの問題を自分たちで解決していけないといけない。
宇久町のLINEの公式アカウントを作ったらどうか。島の情報、回覧版とかいろんな情報を発信できるのではないかな。
- 高速船の浮き桟橋について。高齢者や介護者に使用しづらい。観光にとってもマイナス。改修を早急に対応してもらえるとありがたい。
長崎市にはこういった浮き桟橋はない。長崎市に次ぐ佐世保市に、もっとふさわしい浮き桟橋にしてほしい。
- 市職員の異動に関して。子どもが足りない。宇久に赴任する職員はほとんど男性の単身赴任が多い。できれば女性を(子ども連れで)宇久に異動させてもらえれば。
里親制度は、問題があったらどうするかという点があるので難しい。



令和6年度宇久地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:宇久島の未来像について
その他フリートーク

地域参加者

- 廃油について。オイルを今までタンカー船に運んでもらっていたが、タンカー船の許可がなくひきとってもらえない。
今は倉庫に保管している。お金がかかるのはわかっているが、環境センターに引き取ってもらえれば助かる。
- 貨物輸送について。以前は浦頭から貨物船が出ていた。現在はフェリーに積んで貨物が到着している状態。港湾部の説明では、佐世保湾のどこも場所が空いていないとのこと。改善してもらえれば、宇久町民の生活が以前のようにもっと便利になる。九州商船に陳情にも行ったが結果はどうにもならなかった。行政の事情は察しているが、何とかできないかと思っている。



2024.10.24 宇久地区



令和6年度宇久地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:宇久島の未来像について
その他フリートーク

地域未来共創部長

- アクションプランをつくるにあたって、一般的には行政の計画として行政だけで作るが、今回は活性化協議会と連名で協働で進めさせていただいた。これを成功に導いていかなければならないと思っている。これまでにいろいろな計画を作成してきたが、ただ単にお金をつぎ込めば良くなるというものではない。そこには一定の努力というか、皆さんと一緒に汗を流してやっていくという覚悟とその行動が伴ったときに始めて成功することだと思う。アクションプランの完成に向けて一緒に頑張っていきたいと思うし、完成した後も引き続き一緒に進めていきたい。
- (地域おこし協力隊は、)なんとしても連れてきたいと思っている。一つは、やりたいことが明確でないと、何となくということではだめである。やることをしっかりと具体的にイメージできる形をつくるということ、そして、待ってても人は来ないので取りに行くというような積極的な動きが必要である。全力をもって取り組みたい。
- (宇久町の情報発信は、)前向きに検討したい。

宇久行政センター所長

- (高速船の浮桟橋については、)港湾部には何回か伝えている。今フェリー桟橋の改修を行っている。全面的に計画自体を見直すというか取組を進めて行こうとされている中で順番があり今は見直しが難しいということである。改めて、港湾部に話をしたい。



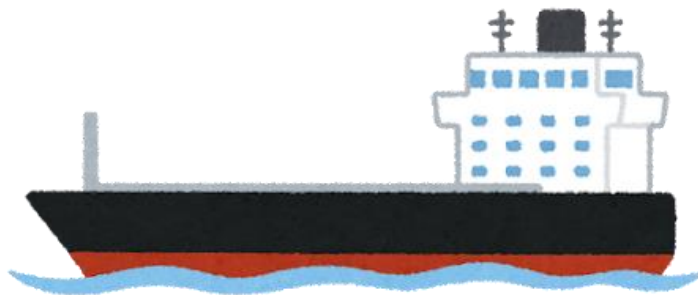
2024.10.24 宇久地区

令和6年度宇久地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:宇久島の未来像について
その他フリートーク

地域未来共創部長

- (廃油の件は、)環境部に持ち帰って伝えたい。



宇久行政センター所長

- 令和4年度に、県から貨物輸送の問題についての会議の話があった。その会議の中に事業者も入って何度も話をしたが、佐世保から長崎の畝刈を本拠地として移し定着しているため、佐世保への再移転は非常に難しいという状況であった。また、佐世保港の使い方について港湾部と話をされたそうであるが、事業者とされても港湾部としても佐世保港でするのは難しいという話であった。令和5年度に、他に代替案がないか、例えば高速船に貨物を載せられないかと検討をしたが、先ほどの高速船の船着場の話もあったように、荷物を運ぶのに人手が掛かり危険が伴う、事業者の倉庫まで遠い、などにより非常に難しいということから一旦話が終わっている。最終的には、ガソリンやプロパン関係について、月に2回で繁忙期は月3回から、常時月3回に回数を増やしていただいた状況となっている。

令和6年度宇久地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:宇久島の未来像について
その他フリートーク

市長

- 活性化協議会でアクションプランの策定に協力をいただき、また宇久島との関係人口を増やしているという取組みに感謝申し上げる。余談であるが、東京佐世保会、関西佐世保会、福岡佐世保会の3つがあり、このうち東京佐世保会の会長から佐世保の情報が我々には入ってこないという話があって、これはいかんなと感じた。関係人口を増やすためには、佐世保に思いがある人、佐世保市に応援をしようと思っている方に、情報が届かないと何があっているかわからないということになってしまうので、そこを繋ぐことが必要である。定住人口を増やすことが一番ではあるが、関係人口や交流人口を増やしてまちの活性化に寄与していきたい。
- 島の施設の問題点について指摘をいただいた。ターミナルや公衆トイレとか施設を視察し城ヶ岳にも登ってきたが、改めてそのことを認識した。一朝一夕にそれぞれの施設を改修するということは容易ではないが、地元の方のみならず観光客にとっても非常に重要な施設であるので、できることから限られた予算ではあるが考えていきたい。ターミナルについては全体の老朽化が進んでいるので、いつの時期かとは申し上げられないが、できるだけ早期に改修が必要ではないかと思っている。
- 地域おこし協力隊については、行政センター職員とのランチミーティングの中でも不在という話が出た。非常に重要なことであるので部長の答弁のとおりしっかりと後押しをしたい。



令和6年度宇久地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:宇久島の未来像について
その他フリートーク

市長

- 佐世保港の整備については重要な課題と思っている。特に今の話については、私が言ってどうなるのか分からないが、持ち帰って港湾部に話をさせていたいただきたいと思う。鯨瀬ターミナルも老朽化しており、ここも早く見直しというか改修を図っていかなければならない。しかし、改修に当たっては、新港ターミナルと2つに分かれていて、機能が分かれていることも含めて、少し全体的に見直しが必要ではないかと思っており、これもできるだけ早く事業を押し進めたいということを港湾部と話をしている。佐世保港のターミナル全体の事業を見直し進めたい。新しい事業をスタートさせていきたいと考えている。

- 職員に強要ができないということをご理解いただきたい。人事異動、配置のあり方については、広域的に考える必要があるのではないかなと思う。もう一つは、例えば、職員に転勤をして家族で行くかどうかというのは個人の判断になるが、その島に行って、いい教育なのか、いい暮らしなのか、そういうようなところを作っていく必要があるのではないかな。ここはもう表裏ではないかなと思う。そういう魅力を感じてくれば、家族も連れて行こうという話にもなってくると思うので、まずはやはり島の魅力を高めること、ここに注力をしていく必要があるのではないかな。話は最初に戻るが、とにかく宇久島の魅力を上げるために、みなさんと一緒に我々も全面的に協力をしていくので、市職員に限らず、宇久に住んでみようとか来てみようとか、そういう人をどんどん増やしていくことが必要だと思うので、ご協力をお願いしたい。



令和6年度宇久地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:宇久島の未来像について
その他フリートーク

市長

- 港湾部に話をしてみたいと思う。話が脱線して恐縮であるが、貨物については、大きさにもよりけりだが、これからはドローンの活用を急速に進めていく必要があると思う。長崎県はいわゆるレベル4で本県と福島だけであるが、レベル4までのドローンの活用ができるように特区の指定を受けた。それを受けて、県北を中心としてドローンの利活用をどんどん進めていこうとしている。その中でまずできることは、荷物を運ぶことについては非常に有効ではないか。佐世保にもドローンの業者がおり視察にも行ったが、ドローンの精度が高まってきて、これからドローンで非常に大きな荷物も運べるようになるという話も聞くとともに、その開発も進められているようである。したがって、離島の荷物の運搬については、これから非常に有効になってくるのではないかなと思うので、是非、検討・連携をしながら、ドローンを含めた運搬も進めていきたいと思う。



2024.10.24 宇久地区